

「働きながら、学んでいます」

編集部（以下略編） 発行にあたり、ワンダーランド砺波（以下略ワンダー）で働いている方にインタビューをしてみました。ワンダーに勤められて二月、しっかりとした口調で取材に応じていただいたAさんに、いろいろお聞きしました。

編 ワンダーに入る前はどされていたのですか？

B ある通信関連会社の障がい者雇用枠で採用されて一般就労をしていました。一年目は、何事もな自分の仕事に励んでいました。2年目に入ると、同じような境遇の後輩が入社して、仕事を教えたり後輩の面倒を見る立場になりました。そんな中で私の教え方が悪かったのかわかりませんが、なかなか仕事のやり方とか思うように伝わらないことや相手の気持ちを聞こうと思って話をしてくれるなかつたりという状況が続きました。もちろん、上司の方や病院の先生にも相談してやり方を変えましたが、中々状況は良くありませんでした。私は、統合失調症を患っていて相手の方が何を考えているのかや私の言っていることがちゃんと伝わっているのかが気になり、私自身が不安定な状態になってしまいました。そういう状況が続く退職しました。

編 どのような経緯でワンダーに入ったのですか？

A 最初は、一般就労の障がい者雇用で何社か受けましたが、中々うまくいかない状況でした。最初は、A型事業所をあまり理解せずにいましたので少し抵抗がありました。でも、A型支援事



しっかりとした口調でインタビューに答えるAさん。

ワンダーランド砺波で働く人にインタビュー

「私、希望を持てるようになりました」

編集部（以下略編） 発行にあたり、ワンダーランド砺波（以下略ワンダー）で働いている方にインタビューをしてみました。ワンダーに勤められて一年、少し緊張された様子で取材に応じていただいたBさんに、いろいろお聞きしました。

編 ワンダーで働く以前はどうでしたか？

B 2年間、B型事業所で働いていました。

編 B型事業所に2年間居て、としてA型に移ろうと思われたのですか？

B 「一般就労したい」というのが目的だったので「段階を踏んでいきましよう」と指導員の方もおっしゃっていたので次のステップとしてA型事業所に移ろうと思いました。

編 A型事業所は数あると思うのですが、どうしてワンダーを選んだのですか？

B いくつか見学をしました。その中でも雰囲気明るくて仕事に集中できそうな職場の雰囲気だと感じたのでワンダーに決めました。

編 B型事業所からA型事業所に移ろうと思ったときに何か不安に思うことはありましたか？

B 目的が一般就労だったので特に不安に思うことはなかったです。ただ、体験をした時に、B型事業所としては、仕事のスピード感が大きく違うのどうかうかしていられないと思いました。



少し緊張気味でインタビューに答えるBさん。

業所も視野に入れていくつか見学をおこなっている時に、ワンダーに出会いました。一番印象に残っているのが初めて訪問したときにパネルボードに私の名前があつて、ようこそ〇〇さんと書かれていました。それを見たときに、びっくりしたというか、そこまで障がい者の方に親切な事業所なら動いてみようかと思えました。また、前の会社とかでも一般社員と同じだと言ってくれて良かったのですが、やっぱり所々で「君は障がい者だから」とみたいところがありました。それがA型事業所だったら専門のスタッフの方が居て、いろいろ教えていただけることと自分自身のことにも専念できるので楽にいられるなと思いました。また、事業所の理髪などをホームページでも読んで、しっかりした考えももっているというのを知れたことも入るきっかけになった一つです。

編 お話の中でA型事業所に抵抗があつたと話されていましたが

A どんな人たちと一緒に仕事をするようになるのかなとか世間的に周りの目が気になっていました。でも、実際に入ってみるとほとんど健常者と変わらない方も一緒に働いているので気にならなくなりました。また、みんなそれぞれに一生懸命仕事に取り組んでいるので、胸を張って自信をもってワンダーランド砺波に勤めていると言えますね。

編 実際にどのような仕事をされているのですか？また、目標などはありますか？

A 配線関係の組み立てやテープを巻いていくこととかをおこなっています。自分としては、5分に1つ仕上げようと目標をもっておこなっています。今では、スピードも速くなって目標を達成することができて自信を持ってようになりました。会社に貢献できているかなと勝手に思っています。（笑）

編 ワンダーのいいところは？

A 施設長はじめ皆さん、とにかく笑顔なんです。笑顔が素敵なんです。それと親切。自分の心配事などを相談すると本当に親身になって私の話を聞いてくれたり、わかるようにしてくれることです。そういう方がたくさんいるところなんです。もちろん、優しいばかりではなくて厳しいところもあります。でも、それが感情的な

編 ワンダーに入って（最初の頃）働きはじめの頃はどんな感じでしたか？

B さすがに新しいところなので緊張はしていました。それ以上に、仕事の内容が自動車配線関係なので、間違えたりしたら大変なことにならないかとプレッシャーを感じていました。でも、スタッフの方がエックしてくれて、間違っても気づかせてくれるので少し楽になりました。でも、責任がゼロではないので「大事な仕事をしている」「責任をもって仕事をしよう」という気持ちは変わりません。

編 他の一緒に働いている方々との関係はどうでしょうか？

B それぞれ抱えていることは違うので、その辺はB型事業所で経験をしているので気にはならなかったです。私自身が問題を起こさないようにしっかりとしようというほうが強かったです。なせなら、協力合って仕事をしていかないといけないと考えているので個人プレーというかわがまは言っておれないと思いました。そういう年齢でもないです！（笑）

編 ワンダーのスタッフに対してはどんな印象を持たれていますか？

B 私が今まで経験してきたことという「仕事への姿勢がまざ違っていること」例えば、配線の仕事にしても何となくできることまで作業的な感覚で行うのではなく、きちんといくつ仕上げるのか目標をもってみんな協力し合いながら達成できるようにしているところです。「仕事が正確で速いという優勢が違うなあ」と感じています。

編 実際に働いていて「楽しい」と感じる時はどんな時ですか？

B 任された仕事を失敗せずに一日やれた時に感じる達成感が楽しい時です。

編 ワンダーのいいところはどこですか？

B 職場が明るいしという雰囲気がいいところだと私は感じています。

編 ワンダーで働いていてBさん自身が変わったことってありますか？

B 以前の自分からすると、生活や仕事に対する考え方が変わりました。生活に関しては、収入も増えて安定するようになって

感じではなくて「その人のために」とか「この人にならなうってほしい」という想いの地があつて厳しいことも辛直に伝えているところが私にはわかるので、そういうところもいいところだと思います。とにかく私にとって、スタッフさんや仲間との信頼関係がよくなって居心地がいい、働く環境がいいということ。私も人に教える立場を経験しているので、人間的にも尊敬できる方々がたくさんいて、働きながらいろいろ学ばせていただいています。

編 これからどうしていきたいですか？

A そうですね。まだ入って間もないので長期の目標はまだないのですが、いろいろな仕事をこなして会社に貢献できればいいなと思います。当面は仲間と助け合って協力していければと思っています。その上で一般就労というのも見えてくるかなと思います。



準備をおこなうAさん。



配線組立て作業をおこなうAさん。

たこと。仕事に関しては、以前とは内容が違うので責任感をもってやることで達成感や自分の自信にもつながります。中でも一番大きかったのは、自分自身のこれからというか人生について先行きが不透明でどうしていいかわからずに困っていた。でも、ワンダーで働く中で徐々にこれからの人生をしっかりと歩んでいけると感じています。関わっていただいているワンダーのスタッフの皆さんも優しく手取り取り助けてくださるので本当に感謝しています。もっと年齢が若いときに、ワンダーと出会えていたらと思っています。

編 これからどうなっていきたいですか？

B 数年かかるとは思うのですがやっぱり一般就労できたらいいなと私は思っています。年齢的なことを考えると四〜五年くらい一般就労で働けたらと思っています。年齢はシルバーの段階ですが、それでも構わないって…思っています。だからこそもっと早い段階でワンダーのようなところを見つけたかったと思います。

編 もし、友人や知人にワンダーってどんなところと聴かれたら何て言いますか？

B オープンでファミリー的なところがあって事業所の雰囲気がとてもいいところ。実は、去年の夏に脳の病気で倒れて助けがたいて元の仕事ができる体に戻ったら嫌しくて嫌しくて、そのことがありがたくって本当に感謝しています。人生諦めるというところで以前よりも生きることが食欲になりました。

編 最後にスタッフに対してと事業所に何か一言ありますか？

B 私を育ててくださったって本当に感謝しています。人生諦めることを覆すほどの職場ですから、みなさんよかったですらどうぞ。（一度、見学・体験をしてみてください）



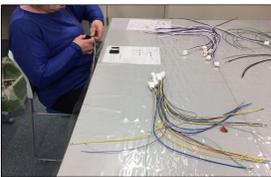
施設長とお話するBさん。



配線組立て作業をおこなうBさん。



事業所内風景



配線差し込み作業をおこなうBさん。



事業所内風景



事業所入口